



マンゴーが
追加されました

殺虫剤 **ウララ**® 50 DF

®は登録商標

やっかいな害虫を狙い撃つ
新タイプの浸透移行性殺虫剤



ミカンキイロアザミウマ

アザミウマ類、アブラムシ類
防除に!

チャノキイロ
アザミウマ

ユキヤナギ
アブラムシ

ハナアザミウマ

写真提供 日本植物防疫協会

アザミウマ類
アブラムシ類
防除に!



殺虫剤 ウララ[®] 50 DF

農林水産省登録 第21813号

殺虫剤分類 29

有効成分: フロニカミド 50.0%
性状: 淡褐色水和性細粒
人畜毒性: 普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- 1 アブラムシ、アザミウマなどの吸汁性害虫に有効**
・独自の作用機構 (IRAC:29) で、特にアブラムシに高い効果
・抵抗性管理のローテーション防除に最適
- 2 ユニークな作用**
・速効的に摂食・吸汁行動を阻害し作物への被害を抑制 (害虫が脱落するまで数日かかることがあります)
- 3 高い浸透移行性と優れた残効・耐雨性**
・処理後、速やかに葉内に浸達
・上位展開葉や新梢にも薬剤が移行
- 4 天敵や有用昆虫に対し、影響が少ない**
・開花期の防除に使用可能
・IPM体系に位置付け可能

中毒症状と摂食阻害効果 (社内試験 石原産業(株)中央研究所/2010年)

【方法】フロニカミド100ppm (ウララ50DF 5,000倍相当) を浸漬処理した葉にミカンキイロアザミウマ2齢幼虫を放虫し、アザミウマの摂食の様子と作用症状および葉の食害状態を観察した。

無処理区のアザミウマの様子



葉に対する摂食阻害効果 (処理1日後)



ウララ 処理区のアザミウマの様子



適用害虫と使用方法 (抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロニカミドを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	アザミウマ類	5,000~10,000倍	200~700 l	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類	10,000倍					
みかん	アザミウマ類	5,000~10,000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
	アブラムシ類	10,000倍					
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	5,000~10,000倍					

上記以外に、カーネーション、きく、チューリップ、ばら、ゆりにもご使用頂けます。

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
 - 本剤の使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
 - 粉末は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布器具、容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。
 - 周囲に影響のない方法で処理を行ない、空容器は環境に影響のないよう適切に処理してください。
 - 保管・・・密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所に保管してください。
- 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。
 - 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2023年2月時点での知見に基づいて作成しています。



ラベルを守って正しく使いましょう!
適用作物、薬量 (希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>



取り扱い